愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習III		
担当者(Instructors)	虎岩 朋加	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

専門演習I・IIで作成した「研究計画書」に基づき、各自が設定した研究テーマを探求し、論文を作成します。「研究計画書」に基づいて、各自の研究を進めていきます。各自が行った文献の分析や研究調査についての個人発表を中心に、発表についてのディスカッションを通して、各自の研究に関するアイデアの推敲を進めていきます。これらの作業を経て、各自の論文の内容をより確かなものにしていきます。全体による対面授業と個別のオンライン授業とを併用させて研究指導を行います。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で授業を行う。授業内容に応じて、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション、フィールドワークを取り入れる。4回程度リモート授業を実施する可能性がある。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	専門演習IIIの概要や受講の注意等について説明する。	□
第2回	研究計画の再検討	作成した研究計画の全体的内容を改めて検討し、今後の研究の進め方を確認する	□
第3回	研究情報の収集（1）文献検索の方法、先行研究の取り寄せ方	先行研究の文献検索のコツや先行研究の取り寄せ方について学習する	□
第4回	研究情報の収集（2）先行研究のまとめ方	先行研究の読解の仕方やまとめ方を学習する	□
第5回	各自の研究に関わる文献の論評（1）ジェンダー	各自の研究テーマの沿った文献を論評し、内容に関して討議する	□
第6回	各自の研究に関わる文献の論評（2）セクシュアリティ	各自の研究テーマの沿った文献を論評し、内容に関して討議する	■
第7回	各自の研究に関わる文献の論評（3）社会理論	各自の研究テーマの沿った文献を論評し、内容に関して討議する	■
第8回	論文構成の検討（1）ジェンダー・セクシュアリティ研究	先行研究の検討から得た知見に従い、論文の構成を検討する	□
第9回	論文構成の検討（2）社会理論研究	先行研究の検討から得た知見に従い、論文の構成を検討する	□
第10回	調査実施計画検討（1）インタビュー、フィールドワーク	インタビュー、フィールドワークなどの調査方法を理解し、調査実施計画を立てる	□
第11回	調査実施計画検討（2）アンケート、言説分析	アンケート、言説分析などの調査方法を理解し、調査実施計画を立てる	□
第12回	調査実施（1）インタビュー、フィールドワーク	調査実施計画に基づき調査を実施する	□
第13回	調査実施（2）アンケート、言説分析	調査実施計画に基づき調査を実施する	□
第14回	調査報告会（1）ジェンダー・セクシュアリティ研究	調査の内容について最初の知見を発表し、内容を検討し、今後の研究実施について各自確認する	□
第15回	調査報告会（2）社会理論研究	調査の内容について最初の知見を発表し、内容を検討し、今後の研究実施について各自確認する	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

各自の卒業研究のテーマに沿った書籍・文献を読む（2時間程度）。卒業論文を執筆するために必要だと思われる書籍・資料を読む（1時間程度）。授業後は授業での検討をもとに、各自のテーマについて文章にまとめる（1時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

出された課題にはコメントを書き入れ、次の授業時にフィードバックをする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	先行研究や文献から多角的視点を獲得するとともに、蓄積されてきた研究知見を理解し説明できる
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	これまでの研究知見を踏まえて、研究の問いを設定し、文献読解し、調査、分析に基づき、課題に対する自分の見解を構築できる

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

レポート提出（50%）文献の論点整理、情報収集、ピアレビュー、ディスカッション（50%）

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		